

# 山口市からのプレゼントについて

## 山口市の伝統工芸品

おうちになぎょう

**「大内人形」のクリスマスバージョンをプレゼントしていただきました！**

山口市の大内人形について御紹介いたします。



## 大内人形のエピソード

室町時代に山口を治めていた守護大名「大内氏」は、京都から花嫁を迎えましたが、お姫様は都が恋しくていつも泣いていました。

心優しい大内氏は、都からたくさんの人形職人を呼び寄せ、奥方が寂しくないように屋敷を人形でいっぱいにしたところ、花嫁は喜び、それからは幸せに暮らしたそうです。

大内人形は、そのような心温まる物語を基に夫婦仲良く並んだ人形がつくられるようになりました。



## 大内塗の歴史

室町時代、西国一といわれるほど栄えた豪華絢爛な大内文化の象徴として誕生した大内塗は、当時大内氏の朝鮮・シナ大陸における重要な交易品として扱われていました。

「大内朱」と呼ばれる朱色や大内家の家紋を金箔であしらう「大内菱」、秋草模様が特徴です。